



議会だより

発行：八郎潟町議会

編集：議会広報編集委員会

〒018-1692

秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80

☎ 018-875-5810



議員研修会《湖東総合病院に係る意見交換会》

改築計画の実現を要望



3月4日、厚生連を招き、厚生連の経営状況、医師不足の問題、来年度以降の病院運営、改築事業の早期方針決定などについて、意見交換が行われた。

- ◆ 2～3 ページ 当初予算
- ◆ 4～8 ページ 一般質問
- ◆ 9 ページ 3月定例会議案
- ◆ 10ページ 補正予算・広域組合
- ◆ 11ページ 常任委員会
- ◆ 12ページ 請願・陳情／議会のうごき



24億6,936万3千円(2.5%増) **を可決** 19億5,164万5千円

町民福祉に全力



3月定例会は、3月9日から19日までの11日間にわたり開催されました。
一般質問者5名、審議した議案は、条例関係6件、補正予算関係9件、当初予算関係10件、議員発議1件などであり、いずれも原案どおり可決されました。

一般会計予算

歳入 (単位：千円)

科目 \ 区分	予算額	構成比(%)	前年度比		
自主財源	町税	489,884	19.8	△ 4,284	
	繰入金	842	0.1	△ 72,488	
	使用料及び手数料	50,316	2.0	△ 1,575	
	分担金及び負担金	20,379	0.8	△ 1,099	
	財産収入	3,980	0.2	250	
	諸収入	34,678	1.4	△ 10,068	
	繰越金	8,210	0.3	457	
	寄附金	3	0.0	0	
	計	608,292	24.6	△ 88,807	
	依存財源	地方譲与税	19,500	0.8	△ 7,501
利子割交付金		1,200	0.1	△ 600	
配当割交付金		200	0.0	△ 400	
株式等譲渡所得割交付金		100	0.0	△ 100	
地方消費税交付金		53,000	2.1	△ 2,000	
自動車取得税交付金		4,900	0.2	△ 601	
地方特例交付金		2,900	0.1	△ 601	
地方交付税		普通交付税	1,100,000	44.5	30,000
		特別交付税	100,000	4.1	0
交通安全対策特別交付金		700	0.1	0	
国庫支出金		196,517	7.9	75,648	
県支出金		154,554	6.3	21,171	
町債		臨時財政対策債	223,000	9.0	53,000
	その他の町債	4,500	0.2	△ 18,000	
計	1,861,071	75.4	150,016		
合計	2,469,363	100.0	61,209		

歳出 (単位：千円)

款名	平成22年度		前年度比
	予算額	構成比(%)	
1 議会費	54,279	2.2	△ 12,332
2 総務費	301,633	12.2	△ 3,617
3 民生費	573,759	23.2	46,890
4 衛生費	308,671	12.5	1,127
5 労働費	10,044	0.4	7,281
6 農林水産業費	97,231	3.9	△ 2,527
7 商工費	27,565	1.1	△ 1,894
8 土木費	309,639	12.6	42,593
9 消防費	154,865	6.3	△ 7,505
10 教育費	219,981	8.9	721
11 災害復旧費	5	0.0	0
12 公債費	408,690	16.6	△ 10,528
13 諸支出金	1	0.0	0
14 予備費	3,000	0.1	1,000
合計	2,469,363	100.0	61,209

各特別会計予算

(単位：千円)

款名	平成22年度	前年度比
国民健康保険特別会計	741,418	△ 45,559
老人保健(医療)特別会計	215	△ 1,280
後期高齢者医療特別会計	57,600	418
公共下水道事業特別会計	308,716	14,224
農業集落排水事業特別会計	28,697	△ 1,435
介護保険特別会計(保険事業勘定)	640,881	17,920
介護保険特別会計(サービス事業勘定)	2,600	0
合計	1,780,127	△ 15,712

企業会計予算 上水道特別会計

(単位：千円)

款名	平成22年度	前年度比
収益的収入	151,073	△ 684
収益的支出	139,242	332
資本的収入	0	△ 1
資本的支出	32,276	△ 12,899

平成22年度 一般会計 特別会計・企業会計

子育てや雇用など



主な事業

(単位：千円)

少子化対策包括交付金事業	H22年度予算額 5,300 国庫補助金 少子化対策に取り組む市町村をサポート、3年間同額を交付予定。
	H22年度実施事業 ①放課後児童異年齢交流及び体験学習サポート事業 1,000 ②結婚祝い金事業(1組10万円 県内2例目) 2,000 ③八郎潟おもしろ市場実行委員会補助金 300 ④こども遊び場遊具整備事業 1,250 ⑤幼稚園預かり保育事業 750
子ども手当支給事業	H22年度予算額 78,609 国 62,282 県 8,163 一般財源 8,164
	中学校終了までの児童を対象に1人月額13,000円を支給 所得制限は設けない
緊急雇用創出事業交付金活用事業	H22年度予算額 18,157 県補助金 平成21年度から実施。昨年度より約15,000千円増額
	以下の事業に充当する ①介護保険認定調査員兼介護予防運動指導員育成事業 3,961 ②雇用対策事業 10,000 ③特別支援生活サポーター設置事業(小学校運営) 2,797 ④特別支援生活サポーター設置事業(幼稚園運営) 1,399
水田農業推進事業 激変緩和調整補助金	H22年度予算額 3,000 一般財源 大豆団地及び枝豆の交付単価が著しく減少したため、町でも補助 300万円の枠内で調整する
	H22年度予算額 90,884 計画年度 H21~H27年度 H22年度対象事業費65,000×65%=42,250が国庫委託金 H22年度計画事業 町道整備工事・除雪対策事業など
公営住宅ストック改善事業	H22年度予算額 1,104 町営住宅への火災報知器の設置 国庫補助金の地域住宅交付金が充当される 申請額×45%

一般質問

湖東総合病院の存続は



伊藤 秋雄
議員

問 湖東総合病院の進捗状況について。医師確保と早期移転改築などの意見書を作成し、署名活動をして大学医学部医局へ働きかける必要があると思うが。町長は昨年の3月定例議会で新年度の施政方針で、湖東総合病院の早期改築を施策の柱と掲げている。立候補した時の公約にも早期着工実現のため行動するとあるが、今後湖東総合病院の移転改築、医師不足解消のためどんな運動をするか。なぜ一度も協議会をすることなく今日まできたのか。

町長 現在湖東総合病院には16名の医師がいるが4月より2名が退職し、5月に2名異動、救急医療体制も日中に行うが夜、土、日、祝日は行わない。介護支援も廃止。新体制は10人位。病院の問題は地域の一番の問題である。「廃止検討」という言葉が一人歩きして

いる。今月と来月にかけて県が地区医療再編計画を作成し厚生連と4町村で秋田大学へ説明し協力を要請する。5月中には湖東地区医療再編計画の素案を作成し6月に議会へ説明する。協議会は議会から要請があれば拒む理由はない。

平成22年度当初予算(案)と重点(目玉)事業第5次基本構想について

問 ①今年度の畠山町政の目玉事業を昨年度と比較した予算関係の項目別(比率)について。②地方道路交付金を活用して21～31年度まで交差のできない狭隘道路の拡幅、迂回路の整備、災害時の袋小路、誘導する道路の整備など10年間の道路整備計画はできているか。③第5次基本構想ができてから今年で5年目。国ではCO2 25%削減を掲げ県でも自然エネルギーを導入した新エネルギー導入を促進している。本町も環境に優しい自然エネルギーを導入する必要があると思う。第5次基本構想を見直し付け加えることは。

町長 ①財政基盤の充実を図り町民の安全を確保し元気づくりの分野に重点。町内会の活性化として地域活性化資金による助成。若者の定住促進のため結婚祝い金を支給。インフルエンザ予防接種は乳幼児から中学3年まで65歳以上の高齢者を対象。今年度「おもしろ市場」は6回開催。地元の活性化を図る。②地域活力基盤創造交付金を活用し道路網整備を進め21～23年まで八郎潟線道路拡幅を行う。24～25年まで町道浦大町下町のバス路線道路拡幅、補修、側溝改良。補助事業制度が26年以降に継続された場合旧秋田八郎潟線整備で小池岡本下台の道路拡幅を重要事業とする。③本町でも環境に優しい太陽光、風力、バイオマス等の新エネルギーの導入について本町に適したものを第5次基本構想後期5カ年計画の中で検討する。

八郎湖水質改善と本町の取り組み

問 ①本町の集落排水処理場を高度処理施設に調査、診断申請資料に作

成、小池、浦大町の施設は来年度計画されているが、将来どのように改修するか。②県生活環境文化部では八郎湖の水質保全のため、昨年6月1日～30日まで戸別訪問をし生活排水を公共下水道へ接続する工事を昨年の暮れ無料で30軒ほど行ったという。当局は県の単独工事を知っていたのか。③合併浄化槽で処理している戸数の把握、また浄化槽の設置を保健所へ届けずに使用している家庭の調査は。④ゴミの最終処分場が大分老朽化しているようだが、フロアのオーバーホールや砂ろ過の砂の取り替えなど管理面の運営はどうか。

町長 ①集落排水処理場の2施設を公共下水道へ接続する認可変更手続きを進める。②八郎湖水質保全のため公共下水道に未接続世帯の接続を無償で実施。町では公共下水道への接続を進めている。生活雑排水のみの接続については下水道法に照らし合わせても疑問がある。県が町の接続業者を決定。③未接続世帯に公共下水道への接続を文書、電話でお願いしている。下水道料金徴収戸数は1、907戸。接続率は77・6%。合併浄化槽は77。無届け世帯の調査はしていない。④処分場は17年になる。専門業者により月3回の点検。消耗の激しいポンプ関係は10台で定期的に交換している。今後の管理運営については定期点検をふまえて整備する。

再問 ①湖東総合病院については一日も早く行動しなければ大変なことになる。4町村の首長はじめ議員らが話し合う場が必要ではないか。②財政支援について厚生連側から具体的な方針を4町村協議会の中で打診されているか。③前町長は小池地区の道路整備を検討していくと言っていたが。

町長 ①6月中旬に議会に説明する意見交換を行う。町民に説明し早期解決の話し合いをしたい。②厚生連側からは一言も言われていない。③小池地区は狭い道路だが住民の協力を得ながら拡幅を考えていく。

一般質問

湖東総合病院医師不足対策と 今後の方向性について



菊地 文人
議員



湖東総合病院

問 ドクターバンク及びドクターシヨートサポートバンク（詳細は議会だより100号参照）について病院側への登録を求めた時に町長から「吟味して対応する」との回答だったがその後の扱いは。また、JA厚生連からの医師確保についての説明は。

町長 双方登録していないので、医師確保のため病院側へ提案したいと考えている。

問 救急患者受入を取りやめることがわかったが、その対応策として男鹿市・南秋田郡医師会との連携・協力体制はできないか。

町長 私が委員である秋田地域保険医療福祉協議会を通じて、秋田周辺圏域救急医療について話し合う。

再問 湯沢雄勝中央病院は、地元医師会が夜間救急外来の診察を行っているのこの地域の医師

会にもお願いしたい。また、厚労省は救急救命士の搬送中の処置業務拡大を協議しているの、それが解禁になったら対応してもらいたい。

町長 今後の病院の規模・医療体制によつては的確に対応していき

問 病院縮小傾向がある中、今後は町としても「医療・福祉・保健」を一本化させた岩手県遠野市独自の俗に言う「遠野方式」と呼ばれるシステムの構築が必要になってくるのでは。また、高齢者や交通弱者と言われ遠距離の病院へ行けなくなりそうな在宅患者は薬の管理がとても難しいので、薬剤師が訪問し服薬指導を行う「在宅訪問薬剤管理指導」を開業医訪問診療とセットで考えてほしい。また、乗り合いで移動する「デマンドタクシー」の導入を。

町長 病院が廃止となつた場合のことなので、現在存続を第一と思つているので考えていない。

問 病院の今後の在り方をめぐり、厚生連側とどのような協議がなされているか、これからの地域医療はどのような方向性になるのか説明を。

町長 今後県が作成する湖東地区医療再編計画素案を4町村で精査し、議会からの協力を得て対応したいと考えている。

問 総務省は新年度から、市町村民間2次救急

医療機関への助成にかかるとの経費について、特別交付税処置を講じることを決めたが対象となるのか。

町長 昨年病院から相談があり、その時点では地元自治体として協力する旨協議されたが、4月から救急医療体制が廃止となるので対象にならない。

企業誘致について

問 町長として企業誘致を促進するためトップセールスマンとしての活動と行動は。

町長 昨年は県企業誘致推進協議会が主催する企業との懇談会へ参加。東京出張時には、県選出国會議員などを介して誘致行動を行ったが、現下の経済状況で大変厳しい。

問 提案として条例の対象となる事業者を支援するため、土地取得費等に対する融資制度の創設、仮称「八郎潟町企業誘致促進資金」として土地取得及び事業所の新設等に要する資金を長期低利に融資することで、より町内に企業を誘致しや

すい資金環境をつくつてみては。

町長 土地取得資金利子補給助成はあるが、土地取得費など融資制度には今後検討する。

問 CAS（キャス）冷凍はご存知か。品質を劣化させずに食品などを1から2年間冷凍保存する技術。農産物などは年毎の価格変動が激しく、安定収入を得ることが難しいが、この冷凍技術を用いて、年単位で生鮮食品を保存し、通年にわたつて安定供給できるようにすれば、安定した収入の確保ができる。その会社では、農業などの関係者を集めた試食会や勉強会を積極的に開き、町村単位で生産者が食品加工工場を持つことを提案している。町の基幹産業が元氣の出る政策を推進することが行政の役目だと思ふが。

町長 本町の野菜生産は自家消費が主で、量や品質が少なく野菜産地としては確立していない。今後は農家への生産の拡大を呼びかけると共に、JA女性部などと連携し食品加工を検討する。

一般質問

新政権と町政



金 一義
議員

問 先年の政権交代で、末端での行政を担う自治体として、この新政権の政策に沿う必要があるとおもいますが、畠山町長が選挙時に掲げてきたマニフェスト「ぎくおの考え」はどのような位置付けとなるのか、その裏付けとなる事業費の捻出について伺います。

畠山町政が、発足して今回2度目の予算執行ですが、何を重視し何を指しでの予算か、また、先に掲げた自身の公約をどれくらい実現されたのか、点数をつけるとすれば何点くらいと自己評価されるのか、またその根拠を



八郎潟町役場

お示しください。

町長 町の財政健全化を目指して予算を策定し、将来の財源を確保する必要から各種の事業においては、必要最小限としている。特に、自分としては評価できない。

将来の町のビジョンを示せ

問 たしかに実質公債比率の数値が高かったが、数値を下げるためには事業を控え何もしなければ自然にその数値は下がっていくことはどなたでも知っています。

いま、我が町は人口減、少子高齢化もすすみ、高齢化に関しては、09年度の調査で県25市町村中20番目の30%の高齢化率です。

町を活性化するために、長いスパンで町の構想のビジョンを打ち出す必要があると思います。確かに前町長が示した「第5次基本構想」があります。それをそのまま踏襲するのではなく自分がこのような町にしたいとの思いを示して、「行政機能の最大活用」し町に活力を与え、町政に反映させていくのが真の町のリーダーとしての重要な努めなのではないでしょうか。その姿を町民に示していただきたい。

町長 将来のビジョンにおいては、財政の健全化を計ることが最優先となっています。

職員の資質向上対策について

問 職員の資質向上は、いつの時代にあっても必要な対策であります。特

に、最近のように財政難、地方分権、職員の削減もという時代にあってはまず、第一に取り組む課題であります。ところで、最近町民の間でささやかれていることは、喫煙の在り方、来庁にさいしての町民に対しての職員の挨拶や対応の悪さ等を指摘しています。

今後町は困難を切り開く人材によって発展するもので、人の痛みの分かる人材育成に努めると町長は約束しています。

職員の公務員としての、職務に精励することを徹底させるべきと考えますが、また職員の意識改革の必要性についての所信をお伺いいたします。

町長 職員は全体の奉仕者として誠実かつ公正に職務を執行するよう常に意識改革をもって対応するよう指導してまいります。

我が町の少子化対策は

問 いま、町を歩いても子供の姿を目にするこ

とが少なくなりました。

出生率の低下には、いろいろな原因があるかと思えますが、県でもめざせ「出生8千人」として少子化対策に取り組むとし、それについての市町村をサポートする「少子化交付金」をスタートするとあります。これについてのアイデアが各市町村から続々とありますが、我が町からはどのようなアイデアを示したのかまた、また積極的に「縁結び」を進める必要があると考えますが町長の考えをお尋ねします。

町長 本町には、少子化対策包括交付金について530万円です。結婚した夫婦にたいして10万円の支給を予算化しております。

結婚支援は県全体としての取組が必要なことから、結婚支援ネットワークの構築を進めております。

一般質問

町の情報発信・観光案内の整備と、 それを行う人材の育成を急ぐべき



畠山 金美
議員

国道沿いの観光案内所について

問 観光客は、見る、食べる、遊ぶ、の三原則を備えた所に来るもの。NPO浦城の勢いを支え、地域活性化につながるように、今から観光案内（バス釣り・盆踊り・願人踊）の準備に着手すべき時期ではないか。当町の「癒しの駅」がもっている人材力は申し分ない。立地条件（お土産店も隣接）の可能性をもつて、他町からの来客への、もてなしの心で町づくりをめざすべきと思うが。

町長 現在NPO法人「浦城の歴史を伝える会」が緊急雇用を活用し、周辺整備を行っているため、徐々に観光客が増えている。国道沿いの「癒しの駅」を町の観光案内所とするには、民間施設

商店街活性化に むけた情報発信 について

を町がどう運営するか難しい面がある。今後「癒しの駅」等と連携を取りながら、進めたい。

問 観光案内所に電子掲示板を設置した場合、来町者の欲しい当町の情報が素早く手に入るサービスになる。商店街の情報ともリンクさせることで、お店側の意識も高まり、特徴あるお店作りへお互いの切磋琢磨が期待できる。そうした商店街



癒しの駅とお土産店

の気運はバリエーション地の利活用にも生かされると思うが。

町長 町でもホームページに各種行事を掲載している。今後各商店街の取り組みや、個人の商店の案内については、湖東3町商工会のホームページを活用し、全国に情報発信を行っていただく様要請していく。

関連質問

◎浦城・願人踊・盆踊りのボランティアガイドの育成も急務。

学校保健安全法に沿った事業として、テニスコート跡地の有効利用を

問 駐車場という案も聞いているが、団塊世代の生きる知恵を町の財産として教育現場にフィードバックするため、ふれあい第2農園づくりに生かせないか。校内への大人の出入りは不審者への監視の目にもなるし、教育ファームやアグリカルチャーの活動は全国に広まっている。行政の考えは。



利活用が期待されるテニスコート跡地

教育長 不審者にはパトロールや周辺地域全体で通学路を見守ることが理想である。農園づくりは、大人との交流や食育としての体験ができる事等、学校教育活動においても役立つものが多い。今後の検討事項にしてい

関連質問

- ◎安全安心フォーラムから見えてきたものは
- ◎小学校・中学校における施設整備の現状について
- ①小学校の暖房設備について
- ②ソフトボールバックネットの腐食への早期の対応を
- ③小学校・中学校のグラウンドに、野球用の簡易型ネット（取り外し自在）のネットフェンスが必要ではないか。

一 般 質 問

医療難民を出さないための 手立ては



北嶋 賢子
議員

問 湖東総合病院内は患者さんで溢れていきます。今頑張っている先生達の健康も心配です。町出身の医師に短期間でも故郷の医療に携わって貰えないか。インターネット等、故郷からSOSの発信を。

町長 ドクターバンクという制度がある。御本人の意志もあるかと思うが、出来れば地元に来て医療に携わって頂きたいと考えている。可能性があるならば、近隣自治体と協議しながら湖東総合病院へ、ドクターバンク制度を提案したいと思う。

非核平和と命の教育を

問 秋田県は全自治体が非核平和宣言を行って

います。憲法9条を如何に思うか。東京大空襲の惨劇や原爆投下の広島。「今を生きる」で有名な聖路加国際病院の日野原重明先生98歳等、平和運動で頑張っている多くの著名人がいます。戦争は敵であれ味方であれ人の心を鬼にします。戦争を知らないからこそ平和教育が必要と思うが。

町長 1月に市町村事務組合で初めて沖縄県に行き、改めて戦争の悲惨さを目の当りにした。終戦の日は、当町の成人式。成人となった皆さんに「多くの尊い命が失われた歴史の先に私達が存在している。正当な理由での戦争等あつてはならないし、この事を忘れないで欲しい」と言っている。

教育長 教育現場で一番優先される事は、子ども

の命を守る事、戦争を知らないことも達だからこそ平和に対する物の考え方を語り論して行かなければならないと思う。憲法9条を遵守する事は、日本人としての基本

理念と考えます。教職員や子ども達には、健康なことも特別支援を要することも。共生。共に生きるということ。互いに支え合つて力を合わせて友達や仲間を大事にする基本姿勢を身に付ける事がゆくゆくは国際平和につながる事と思う。幸福に生きて行く事を目指し、共に生き抜く力を学校教育の中で培つて行くよう指示しています。

水田利活用事業により影響を受ける大豆、野菜等へ町独自の助成を。

問 2月20日の魁新報は大豆やソバ大打撃の大見出しでした。事業の実施に伴い町独自の転作物への助成を。

町長 新政権の発足により農業政策が変わる。主

食用米は10aあたり1万5千円の定額交付となる。本町への交付額は約1億円。転作への助成は、大豆団地の増反地2ha以

真坂、浦大町線に上水道管の敷設を

問 建物が増して来る

上、既耕地1ha以上に昨年度を下まわらないよう、町でも当初予算に助成金3百万円を計上した。

地域です。下水道管が敷設されているのに町の上水道管が入ってません。敷設を。

町長 今後、新規に家屋等の建設計画があり水道水の供給に支障が生ずると懸念される場合については水道管の敷設を行い安定供給を計ります。



真坂・浦大町線

平成22年 八郎潟町議会3月定例会提出議案

議案番号	審議案件	結果
議案第1号	八郎潟町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案について	原案可決
議案第2号	八郎潟町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案について	原案可決
議案第3号	八郎潟町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案について	原案可決
議案第4号	八郎潟町学童保育料徴収条例の一部を改正する条例案について	原案可決
議案第5号	八郎潟町学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例案について	原案可決
議案第6号	八郎潟町奨学基金条例の一部を改正する条例案について	原案可決
議案第7号	平成21年度八郎潟町一般会計補正予算（第9号）について	原案可決
議案第8号	平成21年度八郎潟町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について	原案可決
議案第9号	平成21年度の八郎潟町上水道特別会計補正予算（第6号）について	原案可決
議案第10号	平成21年度八郎潟町老人保健（医療）特別会計補正予算（第4号）について	原案可決
議案第11号	平成21年度八郎潟町公共下水道事業特別会計への繰り入れの補正について	原案可決
議案第12号	平成21年度八郎潟町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
議案第13号	平成21年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計への繰り入れの補正について	原案可決
議案第14号	平成21年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第15号	平成21年度八郎潟町介護保険特別会計補正予算（第4号）について	原案可決
議案第16号	平成22年度八郎潟町一般会計予算について	原案可決
議案第17号	平成22年度八郎潟町国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第18号	平成22年度八郎潟町老人保健（医療）特別会計予算について	原案可決
議案第19号	平成22年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第20号	平成22年度八郎潟町公共下水道事業特別会計への繰り入れについて	原案可決
議案第21号	平成22年度八郎潟町公共下水道事業特別会計予算について	原案可決
議案第22号	平成22年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計への繰り入れについて	原案可決
議案第23号	平成22年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計予算について	原案可決
議案第24号	平成22年度八郎潟町介護保険特別会計予算について	原案可決
議案第25号	平成22年度八郎潟町上水道特別会計予算について	原案可決

議員発議（可決）

●核兵器の廃絶と恒久平和実現に関する意見書案について

広島市長と長崎市長から、国会及び日本政府に対して積極的に働きかけるよう、核兵器の廃絶と恒久平和実現にむけた意見書の決議を要請する文書がきており、世界平和のために必要と認めるので、法第99条の規定に基づき、意見書を提出するものである。

送付先 衆参両院議長 内閣総理大臣 総務大臣 外務大臣



3月定例会 補正予算

一般会計及び6特別会計補正予算は原案どおり可決されました。

一般会計について

主要内容（歳入歳出の額は一致しません）

○歳入	地方交付税(国)	1億1千129万7千円
	地域活性化・きめ細かな臨時交付金(国)	6千824万4千円
	防災情報通信設備事業交付金(県)	728万7千円
	前年度繰越金	1億1千589万8千円
○歳出	財政調整基金積立金	2億4千136万9千円
	減債基金積立金	567万1千円
	全国瞬時警報システム整備工事(県関係)	900万円
	地域農業水利施設ストックマネジメント事業費補助金 (事業費の15%、八郎潟土地改良区へ)(町単)	300万円
	（きめ細かな臨時交付金関係(国)）	1千万円
	地域児童館改修事業	1千900万円
	浄水場施設改修事業	1千254万円
	防災センター改修事業	682万4千円
	中羽立公園体育施設改修工事	1千503万1千円
	安全安心町づくり推進事業(街灯切替事業)	1千66万7千円
	既設公営住宅改修事業(川崎羽立まちなか団地)	1千66万7千円

広域組合議会

湖東地区行政一部事務組合

3月24日定例議会を開催し、次の議案を全会一致で可決しました。

平成22年度一般会計予算

歳入・歳出
5億6千998万8千円
(前年度3・8%の増)

歳入の概要

〔構成市町の負担金等〕
八郎潟町 1億4千291万2千円
井川町 1億2千280万8千円
潟上市 2億6千869万4千円
その他 3千557万4千円

歳出の概要

議会費 128万2千円
総務費 3千793万8千円
衛生費 1千698万3千円
消防費 5億170万7千円
公債費 1千127万8千円
予備費 80万円
となっておりま。

八郎湖周辺清掃事務組合

3月23日定例議会を開催し、次の議案を全会一致で可決しました。

平成22年度一般会計予算

歳入・歳出
3億3千752万2千円
(前年度1・6%の増)

歳入の概要

〔構成市町村の負担金等〕
八郎潟町 3千281万1千円
五城目町 4千831万7千円
井川町 3千1万円
大潟村 2千166万円
男鹿市 1億6千790万1千円
その他 3千682万3千円

歳出の概要

議会費 98万2千円
総務費 3千962万9千円
衛生費 2億6千30万8千円
公債費 3千560万3千円
予備費 100万円
となっておりま。

八郎潟町・井川町衛生処理施設組合

3月25日定例議会を開催し、次の議案を全会一致で可決しました。

平成22年度一般会計予算

歳入・歳出
7億153万6千円
(前年度1・7%の減)

歳入の概要

〔構成町の負担金等〕
八郎潟町 4千641万2千円
(うち交付税分2千63万5千円)
井川町 2千207万1千円
その他等 305万3千円

歳出の概要

議会費 21万8千円
総務費 2千49万6千円
衛生費 1千175万9千円
公債費 3千806万3千円
予備費 100万円
となっておりま。



遺影を持ち、追悼演説を聴く故齊藤徹郎議員の御遺族



故齊藤徹郎議員へ追悼演説をする佐藤長議員



常任委員会の審議

総務教育 常任委員会

問 町教育委員会評価委員会選考基準と委員報酬の根拠、会議回数

答 教育委員会の委嘱で教職OB・企業関係・教育に関しての有識者の3名。町独自の算定で日額5千円、年3回の予定。

問 4月から秋田県地方税滞納整理機構が設立されるが説明を。

答 県に事務所を構えて10市より職員を派遣し、県職員、5、6名と一緒に町県民税の滞納がある市町村に徴収業務を行なうことにな

る。全くの未納者は差押えの対象になり得る。

問 小学校の生活支援サポーターについて有資格者でなくてもいい

答 学校生活の必要な支援をサポートするもので、教育長が具体的に作業内容を説明し、選任している。資格は特に要しない。

民生産業 常任委員会

問 企業誘致は町の命運がかかっている。ブレゼンテーションのビデオ製作においては議会や商店街等に見てもらいながら進めるのはどうか。

答 昨年は県主催であった。毎回町長か副町長が東京などに行っている。3分程度の説明だが、今年もあるかわからない機会があれば相談したい。

問 地域活力基盤創造交付金事業について。

答 八郎潟線の中嶋の道路が狭いので、拡幅事業を21年から23年にかけてやる。今年度は用地買収を、実質工事は23年度から。浦大町のバス路線については、地域説明会を実施



アオコ遡上防止オイルフェンス工事現場視察

し、23年度に実施予定。その他の箇所は、選択をしながら補修をしていく。

問 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合負担金(し尿)については、当初計画では23年度で終わる予定であったが、いつまで実施し、今後どのように考えているか。

答 し尿、浄化槽汚泥の搬入量が年々減少し、今では当初時の5分の1となっている。この減少により生物処理ができなくなることから、組合の今回の予算案に、今後想定されるし尿直接投入(公共下水道)に向けた比較検討のため調査費を計上している。その後具体的な事業計画がなされる。



B & G プール現地視察

請願・陳情

受理番号	受理年月日	件名	住所	氏名	件名	付託委員会	本会議結果
1	平成22年2月2日	陳情	秋田市	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中村秀也 他1名	最低賃金の大幅引き上げと、全国一律最低賃金制度確立を国に求める意見書採択を求める陳情書	民生産業	採択
2	平成22年2月15日	陳情	秋田市	秋田県平和委員会 理事長 風間幸蔵	鳩山首相は、名護市長選挙で示された民意を尊重し、『公約』を守ることを要請する意見書について(陳情)	総務教育	採択
3	平成22年2月26日	請願	秋田市	農民運動秋田県連合会 委員長 佐藤長右衛門(紹介議員 北嶋賢子)	米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める請願	民生産業	採択
継続審査	平成21年11月1日	陳情	八郎潟町	全日本年金者組合湖東支部 支部長 土橋茂	後期高齢者医療制度の廃止をもとめる陳情	民生産業	不採択



議会のうごき

1月

- 4日 消防団出初め式
- 6日 湖東3町商工会賀詞交歓会(改善センター)
- 18日 例月出納検査
- 26日 秋田県町村議会議長会理事会(市町村会館)
広報編集委員会

2月

- 1日 合同厄払・還暦祝(改善センター)
- 6日 八郎潟町スポーツ賞授与式・スポーツ講演会(改善センター)
- 12日 南秋田郡町村議会議長会連絡協議会
- 14日 「浦の虎子物語」公演(改善センター)
- 17日 例月出納検査
- 18日 後期高齢者医療広域連合議会(市町村会館)
- 22日 盆踊り実行委員会(ロマンの里)
- 25日 県議長会自治功労者表彰式・理事会(市町村会館)

3月

- 1日 湖東総合病院運営委員会・改築推進協議会合同開催(五城目町)
- 2日 議会運営委員会、広報編集委員会
- 4日 議員研修会(保健センター)
- 7日 八郎潟中学校卒業式
- 9日~19日 3月定例会
- 13日 八郎潟幼稚園卒園式
- 16日 八郎潟小学校卒業式
広報編集委員会
- 23日 八郎湖周辺清掃事務組合議会(男鹿市)
例月出納検査
- 24日 湖東地区行政一部事務組合議会(井川町)
広報編集委員会
- 25日 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会
- 26日 広報編集委員会
- 29日 南秋田郡議会議長連絡協議会
湖東総合病院を守る住民集会(五城目町)



◆議会広報編集委員会
委員長 北嶋賢子
副委員長 菊地文人
委員 近藤美喜雄
小島山金美
三戸留吉

議会広報も本号から趣を変えてみました。感想等をお寄せいただきました。ありがとうございました。
(けん子)

森山と高岳山に抱かれた田圃に羽を休めていた白鳥も北へと旅立ち、福寿草が咲き、きぶしの黄色の花房や二輪草と野山の花が続きます。

編集後記